



マナウス

平成 29 年(2017)年 10 月 30 日 第 8 号

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

集団行動を通して、学びを深めた修学旅行

マナウス日本人学校 校長 中川勝美

三年に一度の修学旅行が、10月3日～5日の日程で行われました。「TOP～自ら考え、自ら行動する～」のスローガンのもと、事前の学習を積み上げ、日本やマナウスでも経験できないたくさんのことを学びながら、充実した3日間を過ごすことができました。

2日目は、まず、パラカツのシマダ農場を見学しました。ここではバナナ農園、センター・ピボット方式による大規模灌漑農業の様子を見たり聞いたりすることができました。

見渡す限りバナナの林に子供たちは、驚いていました。また、バナナの房を一株ずつ切り落とす包丁さばきならぬ刀剣さばきの早業に目を見開いていました。

カボチャ畑では、日本では見られない、全長600mもある巨大スプリンクラーが少しずつ移動しながら散水する様子を見学できました。

夕方には、パラカツ日本語学校を訪問しました。日系の方だけでなくブラジルの方も日本文化に惹かれて学んでいるだけあって、日本語や日本文化に対する熱気を感じてきました。

パラカツ日本語学校の紹介や豪華な夕食を用意していただき、最大級の歓迎を受けました。マナウス日本人学校のプレゼンも興味津々の様子で聞いていただきました。

最終日は、ブラジリア市内見学と日本大使館を訪問しました。日本大使館は、厳戒態勢の施設で、防犯意識を肌で感じるようなピリピリ感があり、子供たちにとって貴重な体験であったと思います。

また、JICA 交番プロジェクトでは、地域防犯のために日本の警察と協力しながら、治安維持と住民サービス向上のため、頑張っている警察官の様子を学ぶことができました。

子供たちにとって、様々な方のお世話になって修学旅行が経験できているということに改めて意識した旅行であったと思います。保護者の皆様、シマダ農場、パラカツ日本語学校、JICA や日本大使館の関係者の皆様、そして修学旅行に関わってお世話いただいた皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



練習の成果を発揮した水泳記録会

9月30日(土)に飛び込み禁止の新ルールの下で水泳記録会が実施されました。ルール変更にもかかわらず素晴らしい記録が出ました。

【学年統一新記録】

- 12.5m 自由形 I・K さん (記録 11 秒 4)
- 25m 自由形 I・K さん (記録 23 秒 9)
- 12.5m 自由形 N・H さん (記録 11 秒 5)
- 25m 自由形 S・S さん (記録 19 秒 2)
- 25m 背泳ぎ H・K さん (記録 21 秒 2)
- 25m バタフライ S・S さん (記録 25 秒 7)
- 25m バタフライ K・S さん (記録 24 秒 8)
- 25m バタフライ H・K さん (記録 21 秒 8)

11 月行事予定